

## 広がりを見せる米国カーシェアリングビジネス ～ Zipcar 社の事例から ～

平成20年11月30日  
愛知県サンフランシスコ産業情報センター  
駐在員 杉本安信

サンフランシスコのダウンタウンを歩いていると、駐車場の脇に「Zipcars」と書かれた緑色の小さな看板をよく目にします。これは、車の共同利用事業を有料・会員制で行う Zipcar 社の車とその駐車場に配車されていることを示すもので、米国ではサンフランシスコを始め、主要都市でその認知度が次第に高まっています。

このようないわゆるカーシェアリングの仕組みは、日本でも以前豊田市内で行われた電気自動車の共同利用実験の事例があるほか、現在も主要都市圏をはじめ、日本各地で民営、公営など様々な事業主体による事業化が進められています。自動車利用大国の米国国内においても、近年のガソリン価格の高騰を背景とした環境意識の高まりを受け、利用者も増加傾向にあるようで、その注目度も高まっています。



駐車場に立つ Zipcar の看板

サンフランシスコは米国内でも公共交通が比較的発達した街とされていますが、近年のガソリン価格の変動を経て、レンタカーの一種とも言えるこのカーシェアリング事業にどのような変化、傾向が見られるのか、このほど Zipcar 社のサンフランシスコ支店に事業の状況を聞いてみましたのでご紹介します。

### < Zipcar とは >

Zipcar 社は 1999 年マサチューセッツ州ケンブリッジ市でカーシェアリングビジネスを開始し、以後、ボストン、ニューヨーク、ワシントン D.C.での実施に続き、サンフランシスコでは 2005 年に開始されました。現在、さらに広がりを見せ、Zipcar はカナダ、英国も含めて 50 以上の都市で事業が行われています。

利用希望者はあらかじめ料金区分が設定された会員登録を済ませる必要がありますが、同社サンフランシスコ支店のジェニファー・ペイン・スレイト ビジネス開発課長によれば、会員は急速に増加し、現在、総会員数は 20 万人以上、サンフランシスコだけでも 2 万 5 千人に達しているとのこと。以前は比較的若い人の利用が多かったようですが、最近では、高齢の方も利用する傾向が出てきているようです。

実際の利用にあたっては、会員登録時に免許証を Zipcar 社に提示し、運転歴の確認がなされたのち、後日、会員カードが届きます。利用者は電話またはインターネット（携帯電話を含む）で利用時間・発着駐車場を予約し、時間になったら駐車場へ向かい、フ

フロントガラスの読み取り機に会員カードをかざして乗り込みます。運転中にガソリンが足りなくなれば、車内に備え付けられた専用カードで自ら給油します。また、車の返却が遅れた場合には、時間単位での延滞料金が加算されます。Zipcar では最初の 1 時間以降、30 分単位での利用が可能なのもあって、短時間利用者が多いとのことですが、8 時間以上利用の場合は、24 時間利用を選択するほうが安くなっています。各車両の利用時間、距離は無線通信によりセンターのコンピュータに送信され、管理されています。



Zipcar のマークのついた貸出用の車

Zipcar が導入されている都市は国土の広い米国で見ればまだまだ主要都市に限定されていますが、利用可能な都市では、街中の多くの駐車場に配車されています。個人向けには年会費を払う会員（利用が少ない会員向け）と月ごとの会費を払う会員（利用が多い会員向け）の 2 区分があります。

例えば、サンフランシスコでは、年会費 50 ドル会員の場合（初年度の申込金は別途 25 ドル）、平日に 3 時間借りると 27.75 ドル（時間あたり 9.25 ドル）、1 日利用だと 69 ドルで借りることができ、いずれもガソリン代、保険料込みとなっています（2008 年 11 月 30 日現在。料金は会員区分・地域によって相違）。レンタカーに比べて短時間の利用区分が設定され、配車場所も多く確保されていることが特徴となっています。

なお、ハイブリッドカーのプリウスは米国でも大変人気の高い車ですが、時間利用の場合には他の車種よりも料金が安く設定されているとのことで、Zipcar の中でも一番人気となっているようです。

#### < 身近にあることを感じさせる Zipcar >

Zipcar 社のホームページを見ると、サンフランシスコとその周辺のいわゆるベイエリアには、11 月末現在、全 40 地区（1 地区に数箇所の配置の場合あり）に約 780 台は配車されています。一般有料駐車場やガソリンスタンド、ホテル、アパート、駅の駐車場、さらにはハンバーガーショップの駐車場などにも配車されており、Zipcar が身近にあることを感じさせます。

同社は、現在、大学とのパートナーシップも進めており、ベイエリアではカリフォルニア州立大学のバークレー校やサンタクルズ校など州立大学とも提携しています。学生や職員向けの割引料金設定により利用増を図っていますが、大学側にとっても駐車場需要の緩和という面でもメリットがあるようです。

今年に入り、ガソリン価格の高騰にあわせて時間当たりの料金が 1.5 ~ 2 ドルほど値上げされたようですが、ガソリン価格の下落が見られる最近でも利用ニーズは依然高いようです。

私の職場でも会員になっている職員が多く、私も同僚の運転する Zipcar に同乗してみ

ましたが、こんなところにもと思うほど、身近なところに配車場所があり、登録したカードで簡単に乗車・運転できる Zipcar はなかなか魅力のあるものを感じました。このベイエリアでは、Zipcar 以外にも NPO（特定非営利法人）により「City CarShare」というカーシェアリング事業も行われていますが、公共交通機関の比較的発達したベイエリアでの近距離移動にカーシェアリング事業は有効なのかもしれません。

自動車所有率、利用率の高い愛知県の交通社会にとっても参考となるこうした米国交通事情と関連ビジネスについて、愛知県サンフランシスコ産業情報センターとしても今後も注目していきたいと思います。